

再処理施設の工事計画の変更理由

使用済燃料受入れ・貯蔵施設におけるプール水漏えい等に係る補修、ならびにウラン試験を安全かつ円滑に実施するために必要な品質保証体制の点検について、ともに年内の終了を目指して全力で取り組むことにより、施設の健全性を確認する方針とした。

なお、ウラン試験ならびにアクティブ試験の開始時期については、国の各種委員会の検討状況や施設の点検状況を踏まえることとし、実施にあたっては工程優先ではなく、地元の皆様のご理解、ご協力を得ながら安全最優先で取り組むこととした。

ウラン試験

開始時期を平成16年(2004年)1月に変更する。

なお、試験期間については、平成15年6月27日付けで約9ヶ月に変更したが、試験を着実に行う観点から、適切な試験期間を再検討した結果、約13ヶ月かけて実施することとした。

アクティブ試験

開始時期を平成17年(2005年)2月に変更する。

なお、試験期間については、試験の最終段階で予定している工場全体の運転性能の確認を従来より時間をかけて徹底的に実施することから、試験期間を約12ヶ月から約17ヶ月に変更し実施することとした。

以 上

再処理工場の試験運転の工程変更

		平成11年度 1999	平成12年度 2000	平成13年度 2001	平成14年度 2002	平成15年度 2003	平成16年度 2004	平成17年度 2005	平成18年度 2006	
従来工程	主要施設の工程	建設		通水作動試験			化学試験	ウラン試験 (約9ヶ月)	平成17年7月 竣工	アクティブ試験 (約12ヶ月)
	主要施設の工程	建設		通水作動試験			化学試験	平成16年1月 ウラン試験 (約13ヶ月)	平成17年2月	平成18年7月 竣工